

# 未来へつなぐWACCA



## 1 活動の概要

「未来へつなぐWACCA」は主として東日本大震災の被災地支援をおこなっている団体で、現地のコミュニティ復活のための支援を名取市閑上地区、南三陸町志津川地区、丸森町泉地区などで実施してきた。また、これらの支援を通じて得た被災地の現状や、さまざまな防災についての知識の普及を地元の尼崎市などで実施している。

## 2 活動のきっかけ

尼崎西高校の被災地支援活動に参加したメンバーを中心に、若い世代が被災地のために何かができないかを考えて発足し、現在では他地域からの参加者を交えて活動している。



## 3 具体的な活動内容

### (1) 東日本大震災の被災地支援活動

2018年から新型コロナがまん延していた時期を含めて今年まで定期的に名取市閑上地区などを訪問し、現地のコミュニティの支援事業（イベント開催時の協力、地域の清掃活動、傾聴活動など）をおこなっている。

### (2) 被災地での知見を基にした現地報告会、防災知識普及のための勉強会の開催

現在では芦屋市・尼崎市などで被災地の現状を広く一般の方々に報告し、被災地の現状について知ってもらう機会を設け、また地域住民、高齢者、さらには子どもなど幅広い人々に防災についての知識を学んでもらう機会を設けている。

### (3) その他、災害発生時の募金活動、地域の環境活動などさまざまな分野で活動している。

## 4 活動の成果や周りへの影響

活動メンバーは大学生、社会人などで、個々の都合に合わせて活動している。こうした主体的な活動の運営を通じて地域の防災リーダーとしての意識の啓発などにつながっている。また被災地との活動を通じた交流が現在も継続している。そうしたメンバーの活動を見て、同じ若い世代が防災に関心を持ち、ともに行動したいという意識が周囲に広がっている。

## 5 他の団体や人材との関わり

同世代の大学生のボランティア・被災地支援団体、さらに各地の災害ボランティア団体との交流があり、豊岡市の地域活性化や熊本地震の被災地支援団体等とも連携して活動をおこなっている。

## 6 将来のビジョンや今後の予定

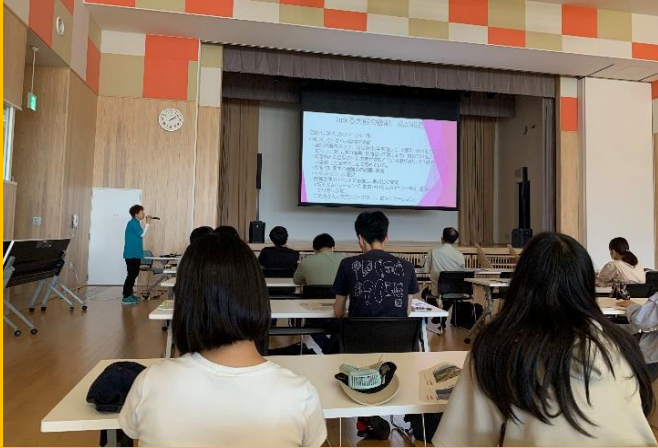
今後も、“微力ではあるが、無力ではない”というスローガンのもとに、メンバーを増やしながら活動を続けていきたい。今年度も定期的に東日本大震災の被災地を訪問し、まだまだ支援が必要な現地のコミュニティ再建に貢献するとともに、これまでにも行ってきた尼崎市など地元での防災知識の普及をすすめ、多くの人にいざという時に必要な防災知識の涵養を図っていきたい。



(写真上は 2023 年 8 月に石巻市旧大川小学校伝承の会との協働事業、下は 2019 年 5 月の閑上街びらきでの記念写真)



# 活動写真



8/8  
福島県大熊町での  
防災学習に参加

8/9  
宮城県石巻市  
旧大川小学校での奉仕活動



8/9  
東北大学 SCRUM 防災部  
や地域の方々と交流



8/10  
名取市閑上・日和山  
での環境整備活動

